

仮置場WGの活動報告

<目的>

・仮置場の設置・運営について自治体、一部事務組合や広域連合、民間事業者それぞれの立場から意見を出し合い、検討することで、今後の災害廃棄物処理を通じた災害からの早期復旧を目的として開催した。

<開催概要（オンライン）>

回	日程	主な内容	参加者
第1回	令和6年 11月26日	話題提供① : 仮置場の設置・運営に係る事例紹介 意見交換① : 仮置場候補地の選定状況 課題抽出① : 仮置場基本情報のとりまとめ・類型化	16名
第2回	令和7年 1月23日	課題抽出② : 抽出した候補地選定に係る課題の共有 話題提供② : 道外の仮置場候補地選定事例の紹介 意見交換② : 仮置場に関する課題解決の方策 意見交換③ : 仮置場設置訓練についての意見交換	14名

<ワーキンググループメンバー>

- ・（総合）振興局 2局 4名
- ・市町村 9自治体12名
- ・一部事務組合 1団体 1名
- ・民間事業者 1団体 1名

1

○ 第1回 仮置場WG

●内容

話題提供①：仮置場の設置・運営に係る事例紹介

意見交換①：仮置場候補地の選定状況

- ・各市町村の選定仮置場候補地から候補地の基本情報整理シートを作成。
- ・これに基づく候補地に対する「留意点や設置時の課題」について意見交換と気づいた点の意見交換

【〇〇市町村】自治体情報シート ※記入済

表1 仮置場候補地の基本情報（記入済）	
名称	〇〇運動公園
所在地	〇〇市〇〇区
所有区分	公有地
所有者	〇〇市
管理者（及び管理委託者）	〇〇市〇〇課
設置可能範囲、面積	設置可能範囲：グラウンド 約 10,000㎡、駐車場 約 5,000㎡
用途地域	〇〇市
周辺の土地利用区分	☒ 農地 ☐ 森林 ☐ 緑地帯 ☐ 水面 ☐ 河川 ☐ 水路 ☒ 道路 ☒ 住宅地 ☐ 工業用地 ☒ その他の宅地 ☐ その他の〇〇施設
災害時の用途	災害時における〇〇グラウンド・体育館等、林野火災時における〇〇グラウンド等
土地の形状、傾斜状況	グラウンドは、駐車場・アスファルト
付帯設備	グラウンド（照明、トイレ、水道、電力）
緊急輸送道路までの距離	〇〇市〇〇区〇〇市〇〇区〇〇市〇〇区
乗り入れ可能な道路状況	駐車場に隣接する主要道路は2車線
地質	〇〇市〇〇区
洪水高	洪水高 〇〇m 以上 〇〇m 未満
土砂災害	〇〇市〇〇区〇〇市〇〇区〇〇市〇〇区
その他特記事項	
グラウンドはコンクリートで舗装されており、照明、トイレが設置されている。水道、電力の確保は、消防団から大型トラックの導入は予定。	
仮置場設置時の留意事項	
周辺に住宅、商店が密集しているため、生活環境保全上の対策を講じる必要がある。洪水による浸水が予想される。土砂災害により、道路に通行不能となる可能性が高い。	

※ 該当する〇にチェックする

意見整理シート□テーマ①

仮置場候補地等 ^①	感想等 ^②
〇〇市〇〇区 ・施設名称：〇〇市〇〇区 ・その他特記事項： ^④ ・仮置場設置時の留意事項 ^③	^⑤
〇〇市〇〇区 ・施設名称：決まっていないが2箇所予定 ・その他特記事項：グラウンド、運動場 ^④ ・その他特記事項：トイレ、水道、照明、電力 ^④ ・仮置場設置時の留意事項：水害のリスク、道路等の通行不可、災害場所から遠い（想定） ^③	ヘリポートや避難場所等により、仮置場の候補地が減ること。役場内での連携が必要である。 ^⑤
〇〇市〇〇区 ・施設名称：〇〇公園横の空き地 ^④ ・その他特記事項：入口が1か所しかない。別途整地が必要。平時は工事の仮設事務所等の用途に使われている。 ^④ ・仮置場設置時の留意事項：河川沿いのため水害の場合は要検討 ^③	避難所や自衛隊、ヘリポートなどほかの用途を優先してしまうと、仮置場の候補地はどんどん減っていきます。 ^⑤

課題抽出①：仮置場基本情報のとりまとめ・類型化

- ・共通した課題となる項目についてとりまとめ、抽出

2

○ 第1回 仮置場WG

●主な課題、意見

- 共通
- 水害・津波等災害のリスク
⇒実際の災害時に使用可能か。
 - 周囲の土地との区画
⇒フェンス囲等、周囲と隔離されているか。
 - アクセス（道路幅、段差）
⇒アクセスしやすいか、段差の有無、大型車の通行が可能か。
 - 災害時の用途
⇒ヘリポート・雪捨て場等用途の競合。他部局との調整を要するか。
 - 土地の整地・調査等事前対応
⇒使用前に作業を要するか。
 - 生活環境保全対策の要否
⇒粉塵、臭気、騒音その他、周辺住民への配慮を要するか。
 - インフラ設備（電気、水道等）
⇒仮置場設置運営時に新たな資材準備を要するか。
- 市町村
- 津波、水害リスク、整地に関する懸念、災害時の用途、生活環境保全上の対策（総合）振興局
 - 土壌調査、生活環境保全上の対策
- 民間事業者
- 生活保全上の対策、インフラ設備
- 一部事務組合
- アクセス（道路幅）

3

○ 第2回 仮置場WG

●内容

課題抽出②：抽出した候補地選定に係る課題の共有

区分	選定例	想定される課題例	対応例
アクセス	付近の道路状況、搬入口の幅員・段差	付近の道路：渋滞対策を要する幅員・段差：渋滞、車両支障	片面通行となる場合は誘導員による入退場管理が必要、段差への対応資材準備
災害時用途	広大な土地	ヘリポート、仮設住宅として使用される場合あり競合する	危機管理部局との調整が必要 他用途での使用が終了した後使用できる場合も想定する
災害リスク	被害想定を予め確認	発災後、津波・洪水による浸水した場合、仮置場の利用不可	災害の種類によって、複数候補地を選定

話題提供②：道外の仮置場候補地選定事例の紹介

- 環境省マニュアル（災害廃棄物処理計画策定・点検ガイドライン）の紹介
- 道外（岡山県真庭市）の仮置場候補地選定事例の紹介：優先順位づけ

【仮置場候補地の選定に当たってのチェック項目】

項目	条件	理由
所有者	○ 公有地が望ましい（市有地、県有地、国所有地）が望ましい。 ○ 地域住民との関係性が良好である。 ○ 〈民有地の場合〉地権者の数が少ない。	○ 災害時には迅速な仮置場の確保が必要であるため。
面積	一次仮置場 ○ 広いほどよい。（3,000m ² は必要） 二次仮置場 ○ 広いほどよい。（10ha以上が好適）	○ 適正な分別のため。 ○ 仮設処理施設等を設置する場合があるため。
平時の土地利用	○ 農地、校庭、海水浴場等は避けたほうがよい。	○ 現状復旧の負担が大きくなる。
他用途での利用	○ 緊急仮設住宅、避難場所、ヘリコプター発着場等に指定されていないほうがよい。	○ 当該機能として利用されている時期は、仮置場として利用できないため。
望ましいインフラ（設備）	○ 使用水、飲料水を確保できること。（貯水槽で可） ○ 電力が確保できること。（発電設備による対応も可）	○ 火災が発生した場合の対応のため。 ○ 粉じん対策、夏場における熱中症対策のため。 ○ 仮設処理施設等の電力確保のため。
土地利用規制	○ 諸法令（自然公園法、文化財保護法、土壌汚染対策法等）による土地利用の規制がない。	○ 手続、確認に時間を要するため。

表 2-5 発災後の仮置場選定イメージ（横軸は一部省略）

候補地名／住所	①発災前の留意点										点数 ○の数	発災前の優先順位	②発災後の留意点 仮置場の配置 被災地との距離	点数 ○の数	発災後の優先順位	
	立地条件	前面道路幅	所有者	面積	周辺の土地利用規制	輸送ルート	土地の形状	土地の基盤整備の状況	被災考慮	地域防災計画での位置づけ						
A 公園 大字〇〇 △番地	○					○					2	D	—	2	4	
B 広場 大字×× □番地	○	○	○		○			○	○		7	A	○	—	8	1
C 総合運動公園 大字△ 〇〇番地	○	○	○					○	○		5	C	○	○	7	2
未利用地 D 大字□□ ×番地				○							1	E	—	—	1	5
E 公園 大字〇 △△番地	○	○	○		○	○					6	B	—	—	6	3
...																

4

○ 第2回 仮置場WG

●内容

意見交換②：仮置場に関する課題解決の方策

- 第1回仮置場WGにおいて抽出した課題の解決策について検討した

区分	想定される課題例	解決策・対応例
アクセス (3団体)	付近の道路：交通渋滞 幅員・段差：渋滞、車両支障	可能であれば大型車両が通行可能な道路幅の確保、誘導員の配置、一方通行
災害時用途 (5団体)	土地利用がヘリポート、仮設住宅として使用される場合があり輻輳する	危機管理局との情報共有、調整が必要、緊急時の土地利用の事前把握・調整と実際に決める際は仮置場についても検討
災害リスク (5団体)	発災後、津波・洪水により浸水した場合の仮置場の機能低下・機能不全	予め複数候補地を選定、災害の種類・規模に応じて選定 水害は気象予警報などで事前検討は可能
インフラ設備 (5団体)	電気・水道等の確保	整備されているところを事前検討で選定 連携協定の活用
周辺との区画 (5団体)	仮置場範囲の指定と周知 生活空間との隔離	公有地にフェンス設置等仮囲いと施錠 必要資材に関しては事前の把握（リスト作成）
生活環境保全対策 (3団体)	近傍の生活住民に対する異臭・騒音問題等への対応	説明会等実施による事前対応、理解周知を図る
土地に対する事前対応 (4団体)	草刈り、整地、敷鉄板等敷設、 土壌汚染対応等	土壌汚染調査（事前事後）や使用前の現地調査の実施
その他	仮置場選定 仮置場レイアウト	全ての条件を満足しない場合は優先順をつけてより良い候補地を選定

5

○ 第2回 仮置場WG

●内容

意見交換②：仮置場設置訓練についての意見交換

- 仮置場訓練実施時のアンケートを参考に、訓練を自前で実施する、または環境省等主催の訓練を行う場合の要望・意見交換

仮置場訓練実施時のアンケート（帯広例）

項目	意見内容
(1) 事前勉強会について	・準備不足 ・重要な内容の理解 ・情報の把握
(2) 仮置場レイアウトの検討について	・時間の確保 ・配置の重要性 ・意見交換の重要性
(3) 実施訓練の資機材について	・資機材の選定基準 ・表示や仕切りの重要性 ・事前確認の必要性
(4) 実施訓練の受付係について	・流れの確認 ・スムーズな受け入れ ・搬入者への案内
(5) 実施訓練の誘導係・受け入れ補助について	・人的資源の不足 ・周囲の把握の重要性 ・連携の必要性
(6) 振り返り・気づいたこと	・役割分担の重要性 ・災害時の不測の事態への準備 ・地域の状況を考慮すること
(7) ご意見・ご要望	・準備不足の指摘 ・次回の開催希望 ・フィードバックの重要性

6

○ 第2回 仮置場WG

意見交換②：仮置場設置訓練についての意見交換

- ・ 今後の仮置場設置訓練の実施内容や要望について意見を交換した

項目	意見内容
今年度訓練参加者の意見	・ レイアウト検討はもう少し時間を確保して、参加者間で議論できればよかった ・ 雨風が強くなってきたなど、不測の事態が発生した場合の仮置場の運営方法の変更や対応について参加者と協議、解決策を見いだせる訓練もできればよい
訓練前後のフォロー	・ 事前ワークや事後ワークがあるとより理解を深めることができるのではないかな ・ 実地訓練を行った後に、国や訓練主催者からレイアウトや動線上の動きなどについての評価・改善点などのアドバイスが欲しい
訓練内容の見直し	・ 図上訓練・実地訓練にあたり、大まかな行動パターンを数パターン用意し、パターン練習をすることで、ある程度の事態に対応できるスキルが身につくのではないかな ・ 道内市町村災害廃棄物処理計画のレイアウトを基に訓練を行う（地域にあったレイアウトを使った方がより実践に近い） ・ 住民参加型（町内会役員等）の訓練を行ってほしい ・ 既に仮置場が設置されている状態で仮置場運用の訓練を行うのではなく、仮置場設置までの訓練を実施してほしい ・ 仮置場の管理運営についてのより具体的な対応（状況写真の撮り方、管理日報の作成、簡易計量器、ドローン等の利用手法、便乗ごみを無くす手法、苦情対応、施設利用条件の住民周知方法等）
その他要望	・ 協定締結先・連携団体との顔つなぎ ・ 防災訓練（全体）への参加